

山口 FG の吉村会長の一連の記事を読ませて頂き改めて筆を執らしていただきました。前相談役田中耕三氏の愛人第一生命の正下文字が銀行の頭取の後ろ盾、虎の威を借りた狐というか雌狸が引き起こした前代未聞の詐欺事件による信用失墜が冷めやらぬ中、今回の吉村会長の女子行員との不倫、愛人問題については、信用を重んじる極めて公共性の高い銀行のトップとして有るまじき行動ではないでしょうか。キャバクラチェーンのオーナーがホステスに手を出したのとは訳が違います。もうかれこれ 1 年前から山口銀行の行員、末端の女子行員に至るまで噂になっており、また、大切な取引先、お客様の間でもこのことは広まってきており、中には「下関のドンファン」と揶揄する方もいらっしやるとのこと。行員がこんなことを起こしたら即降格、しいては退職に追い込まれるのにトップであれば許されるのかということです。全店支店長会議で吉村会長がコンプライアンスの大切さを切々と話されていますが、どの面下げてというよりは厚顔無恥と言わざるを得ません。

この事態を受け、本部から支店長、役席に部下に“ネットに記載されている吉村会長に対する記事は全部嘘だ”と指導徹底するように伝達されています。

行員、行員の家族、親、OB がどれだけ肩身の狭い思いをしているかわかっているのでしょうか。女性の多い職場でトップが部下行員と不倫関係にあるという前代未聞の破廉恥なことを起こして大切な娘をこの会社に勤めさせている親の気持ちを察するに心が痛みます。このことに対して役員はどう思っているのかという投書がありましたが、当然のことながら吉村会長の内部不倫について注意した役員はいました。この役員は更迭され退任させられました。支店長の間では周知の事実です。よく吉村会長は、反対勢力は全て排除したと自慢しており周りにイエスマンだけを置いて“裸の王様”になっていると行員の間では言われています。こんな状況で取締役を監査する立場の社外取締役監査委員の佃氏についても過去 A 女史との関係が記載されています。真偽のほどは定かではありませんが“火のない所に煙は立たぬ”というように噂に上がるということは極めてガードが甘いと言わざるを得ません。

#### 定時株主総会招集通知について

3 号議案から 5 号議案までは、「1 名の株主様からのご提案について提案株主から通知された議案内容を明確化する観点から修正を除き、原文のまま記載しております。」となっていますが、第一生命の正下のことや吉村会長の愛人問題等について説明を求める意見はなかったのでしょうか。3 号議案の「代表取締役の報酬を 3 倍にすること」については皮肉たっぷり提案であり、お前たちに今の役員報酬を貰う資格はないぞと言っているようなもので第 4 号議案に繋がっていると思います。第 4 号議案定款の一部変更の件（役員報酬の個別開示）についてはとても開示できるものではないと思います。

#### 一般行員の年収の引き下げ

一般行員については大幅に収入を下げ今後は歩合制にするので基本給を下げると言っ

人件費を大幅に減らしておきながら一方で会長を含め個々の役員報酬は上げています。銀行内では会長は60百万円、執行役員も30百万円という噂が流れています。投資で10億円の損が出たからなのか残業禁止、残業代を0にしると命令を出しており、給与、賞与も下がり、残業代も無しということになると学費の支払、住宅ローンの返済に困る行員少なからずいると思います。一方、役員報酬は当期純利益に連動するかたちのマトリックスを作っており、人件費を大幅に削減したことにより当期純利益が増えれば増える仕組みとなっているので行員のモチベーションは下がる一方です。別添の5月31日にネット配信された週刊ダイヤモンドの年収の高い銀行ランキング2020最新版では山口FGは85行中74位、平均年収530.3万円、前期比▲22.1%、従業員1,988人、平均年齢38.9歳と載っていました。何よりも驚いたのは、前期比▲22.1%、問題が起きたスルガ銀行でさえ▲4.7%であり、2桁のマイナスは他に1行もありません。参考までに伊予銀行669.7百万円0.1%増、山陰合同銀行664.9百万円2.1%増、中国銀行658.8百万円1.8%増となっています。十数年前、当時の田原鐵之助頭取が不良債権を前倒処理するために赤字決算とすることを決断されたとき役員賞与を0にされた（このことが他の役員の方を買い命取りになったのかもしれないが…）のとは大違いだと思います。反対に自分たちの報酬は上げて金で手なずけたイエスマンの役員の下、誰も逆らえない強権体制を引いて従業員の生活を脅かしていると思えません。

元々誰が考えたのか分かりませんが、銀行内では役職名で呼ばず支店長も代理も平行員も全て“〇〇さん”で呼び合う“〇〇さんゴッコ”から始まり、営業目標を無にし、支店長の融資権限、部下の人事評価権限も無くして、蓋を開けてみれば儲からないとなり慌てふためいて高いノルマを与え、達成できなければボーナスも大幅カットして数万円になった支店長もいるみたいです。支店長は手数料稼ぎに奔走し、私募債やいろんな必要のない商品・サービスを取引先に売り込み、会社の経理部長、役員になられているOBに頼み込んでいるのが実情です。でもこれは長続きしないはずで、金融庁に煽てられていい気になって新時代の持続可能なビジネスモデルとして出来もしない寄せ集めの知識から持論を振りかざし、中途半端な子会社を沢山つくり、成りの果てがこの有様です。スルガ銀行、新銀行東京の木村剛(会長と同じ東京大学経済学部卒)のことを頭に浮かぶのは私だけではありません。行員は夢を無くし、若い優秀な行員は、加速度的に辞めていくのは目に見えています。長引く低金利の中、地方銀行の経営環境は厳しいのは誰もがわかっていることです。役職定年の延長他いろんなことに手を付けたことが経費増に繋がったのは理解できますが、それを全て一般行員の責任にするのは止めて下さい。

今後の給与体系を出来高払い変更されていくなれば、先ず、第一生命事件と今回の吉村会長の破廉恥な愛人問題がどれだけ銀行の信用失墜をもたらして今後の営業に影響を与えるかについて会長の大好きなAI分析を駆使して数値化し、役員報酬から減額されては如何でしょうか。会長の役員報酬全額カットと今後退任される時には役員退職慰労金を全額放棄されても、まだ足りないと思います。

## 最後に

正下文子の巨額詐欺事件については第一生命の社長の記者会見（ライブ配信）のなかでマスコミからの「山口銀行との関係についてお聞きしたい」という質問に、社長が「他社のことについては発言を差し控えたい」と回答されました。このことについては、うやむやにせず、今後きちんと説明する必要があると思います。

吉村会長については、破廉恥な行為の説明は無理でしょうから今回の株主総会で再任されたとしても、「一身上の都合」「体調が悪い」とか理由は何でもよいので一刻も早く退任して以後山口銀行、山口 FG との関係性を完全に遮断して頂きたいと思います。

吉村会長は極めて狡猾な人物と思われます。

以上